

北九州市立大学新学部開設事業

政策局 総務部 総務課
令和7年8月12日

■事業の目的

北九州市立大学では、国のデジタル・グリーン等の高度専門人材の育成や市内企業のニーズなどを踏まえ、情報工学の先端技術を駆使し、DXの推進や社会課題解決に寄与する高度なデジタル人材の育成などを目的に新学部を設置するもの。

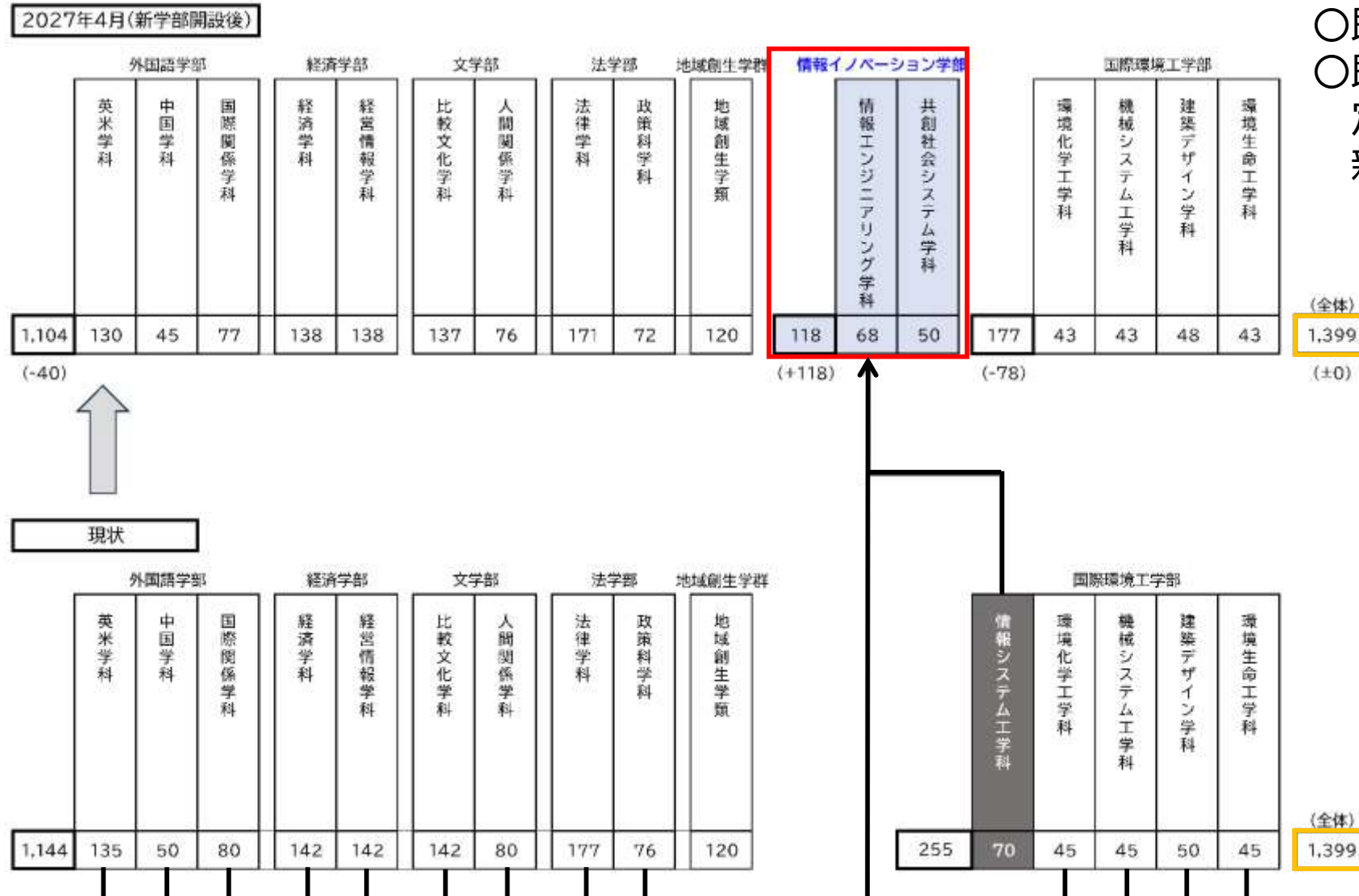
- (1) 高度なデジタル人材を育成し、市内企業等へ輩出・供給
- (2) 市内企業の成長と地域貢献
- (3) 市内へのIT企業等の更なる集積
- (4) 若者のニーズに対応するとともに、充実した学びの場を提供
- (5) 小倉都心部の賑わいに貢献

■新学部の概要

学部名称	(仮称) 情報イノベーション学部
学科名称	(仮称) 情報エンジニアリング学科 (入学定員：68名) 〈養成する人材〉 情報工学の先端技術を駆使する高度人材 (仮称) 共創社会システム学科 (入学定員：50名) 〈養成する人材〉 GX推進や地域社会の課題解決に寄与するデジタル人材
入学定員	118名 (収容定員 472名)
開設時期	令和9年4月

■新学部の概要（新学部開設に伴う学部の構成）

- 大学の定員総数は変更なし。
- 既存学部学科を再編。
- 既存学科を母体とすることや定員を見直すことで新学部を設置。



■位置図（小倉北区魚町四丁目）



■配置図

●計画概要

建設場所：小倉北区魚町四丁目

事業主体：(大)北九州市立大学及び旦過総合管理運営(株)※

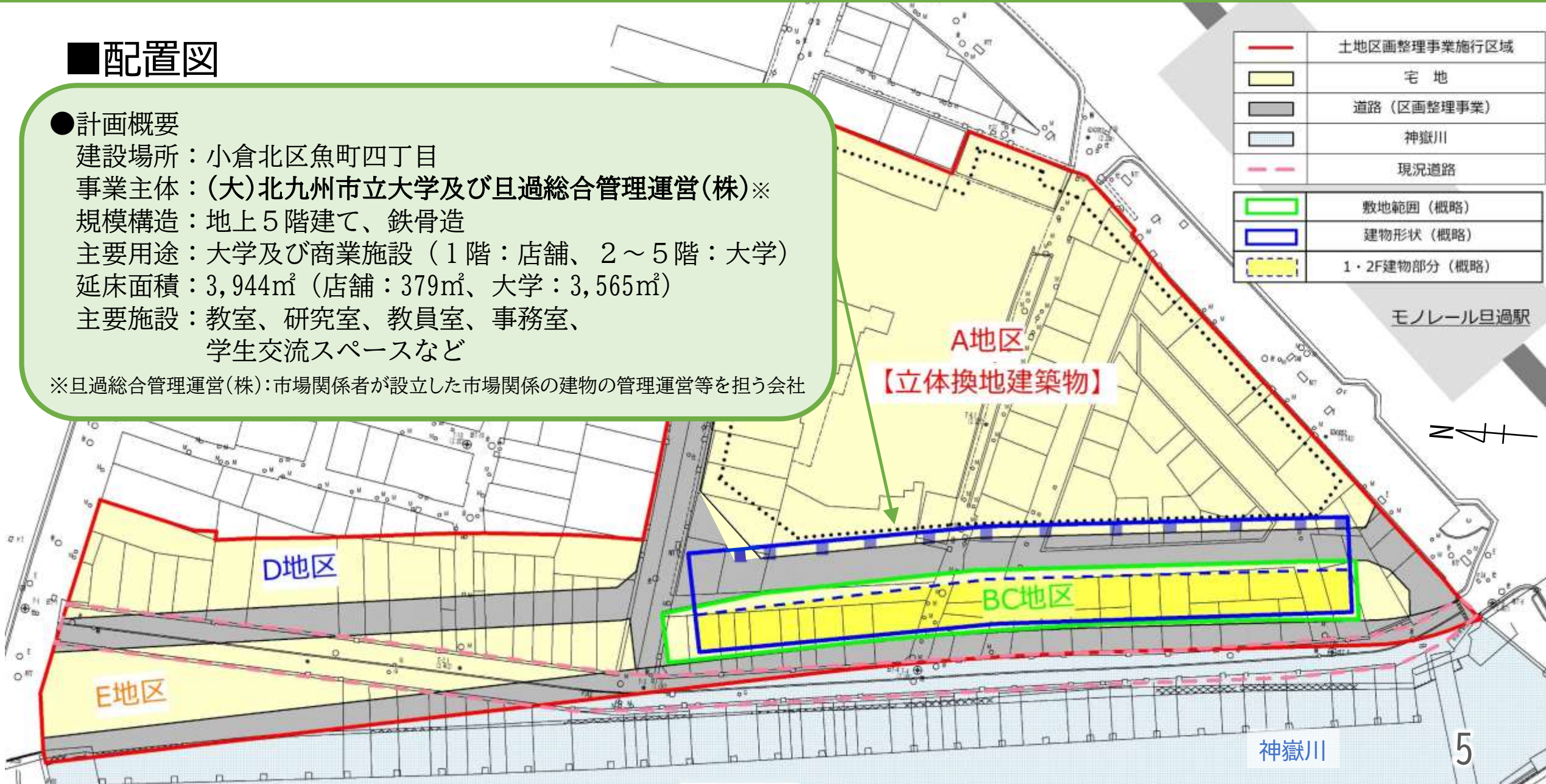
規模構造：地上5階建て、鉄骨造

主要用途：大学及び商業施設（1階：店舗、2～5階：大学）

延床面積：3,944㎡（店舗：379㎡、大学：3,565㎡）

主要施設：教室、研究室、教員室、事務室、
学生交流スペースなど

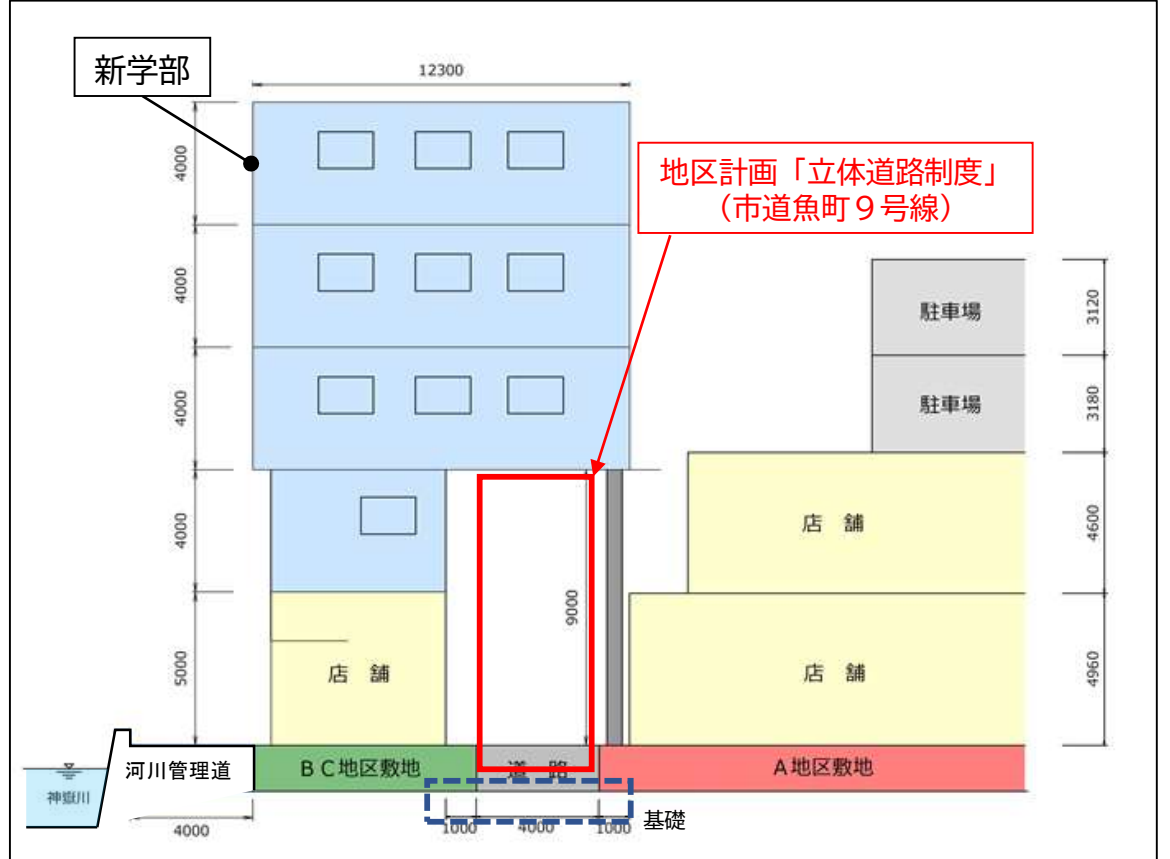
※旦過総合管理運営(株)：市場関係者が設立した市場関係の建物の管理運営等を担う会社



■イメージ図



■断面イメージ

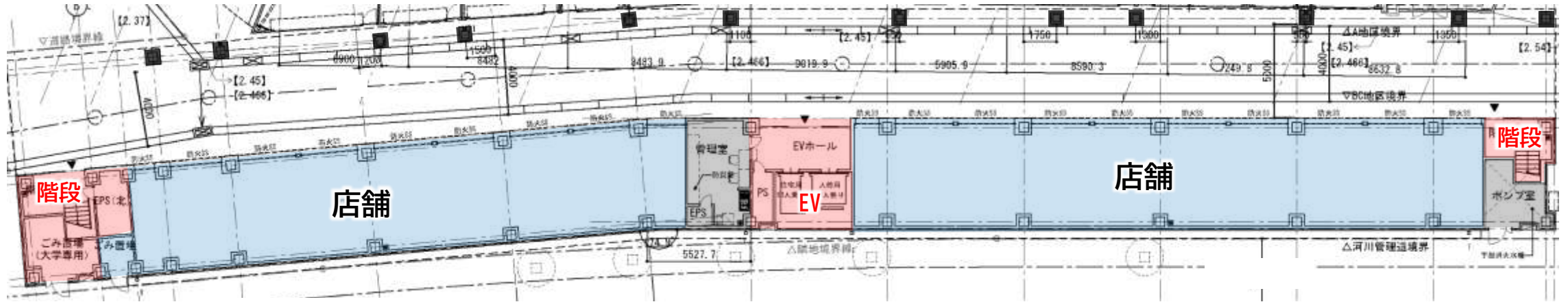


市道魚町9号線の上空に大学の建物、地下に建物の基礎を整備する。

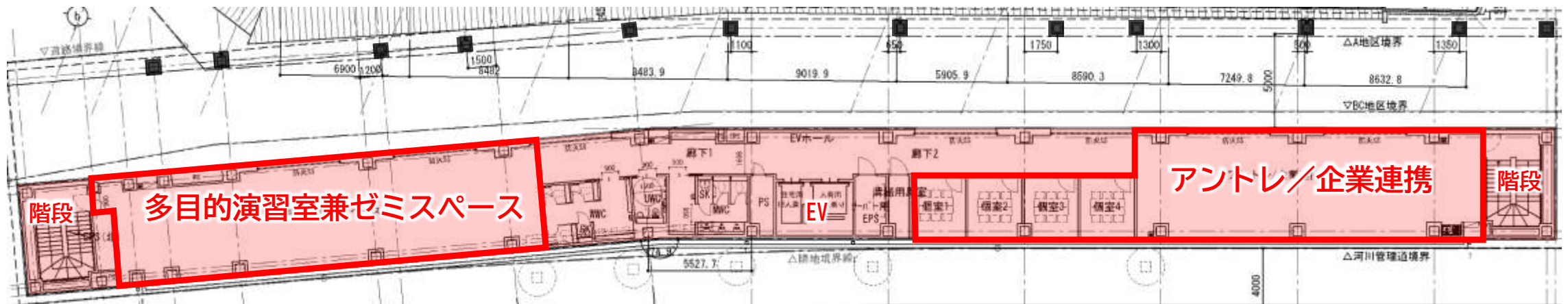
⇒都市計画決定手続き（地区計画の策定）が必要。

●地区計画「立体道路制度」とは
幹線道路等の整備促進と土地の高度利用に関する取り組みの一つ。
道路の区域を立体的に定め、それ以外の空間利用を可能にすることで、
道路の上下空間での建築を可能とし、道路と建築物等との一体的整備を実現する制度

1 階平面プラン

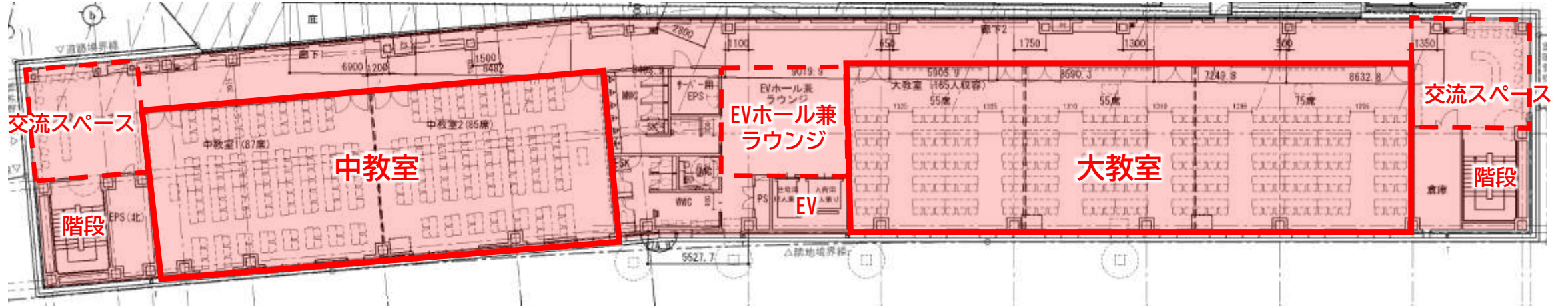


2 階平面プラン

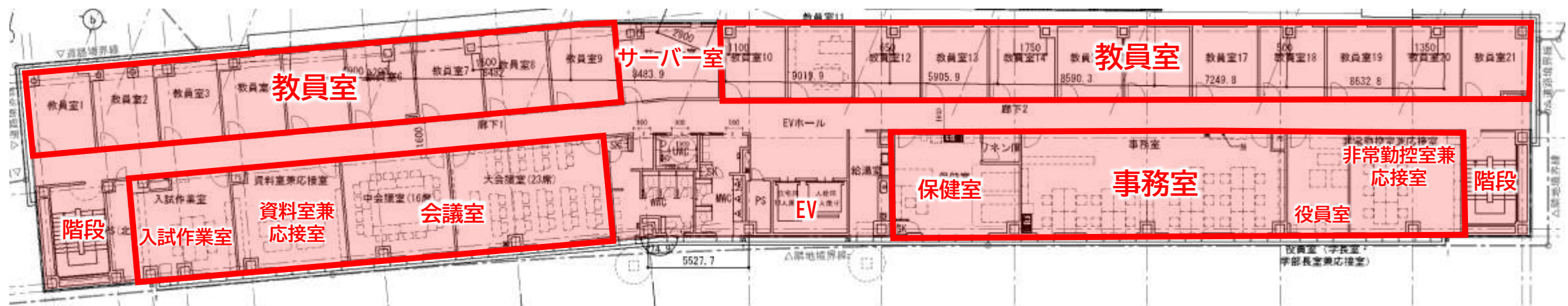


大学専用部

3階平面プラン

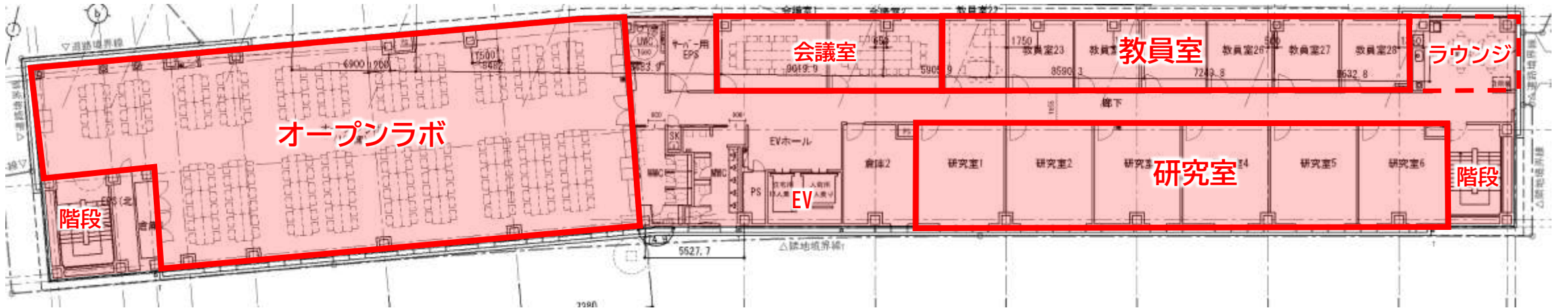


4階平面プラン

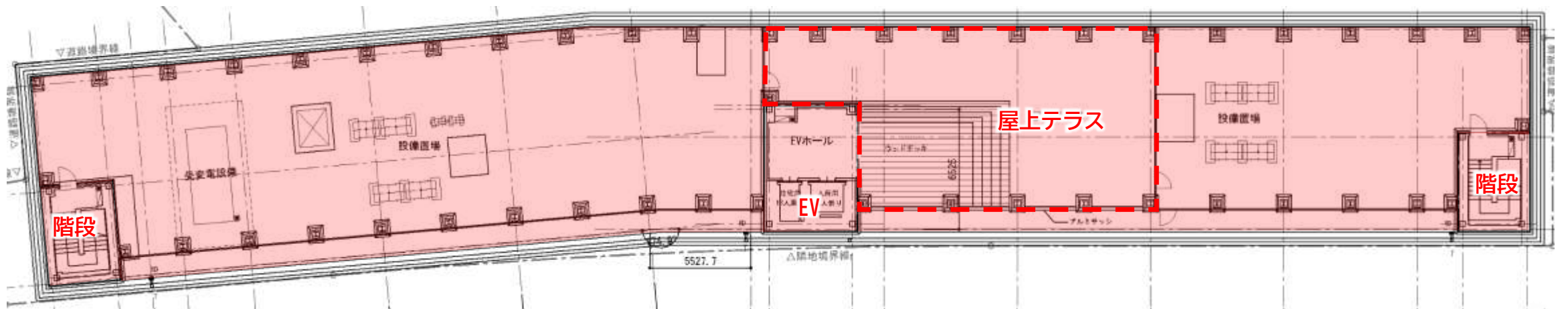


大学専用部

5階平面プラン



屋上平面プラン



■事業実施の背景

- ・生産年齢人口の減少や低い労働生産性、情報サービス従事者の不足と若者の人材流出という北九州市の課題の解決の1つとして、人材の育成と市内就職率の向上が必要不可欠である。
- ・北九州市が定める北九州市立大学の中期目標において、地域や社会の未来を担う人材を育成するために、数理・データサイエンス・AI教育に取り組むとしている。
- ・市が示した目標に基づく大学の中期計画において、大学は、数理・データサイエンス・AI教育に関する学生の理解度等を把握した上で、プログラミングからデータ解析まで行う新しい教育プログラムの作成に取り組むとしている。

■スケジュール

- ・令和6年度：整備場所の決定、基本設計
- ・令和7年度：公共事業評価、実施設計、都市計画決定手続（地区計画「立体道路制度」）
- ・令和8年度：建築工事（着工）、用地取得、新学部の認可手続
- ・令和9年度：新学部開設、建築工事（竣工）及び建物供用開始

年度	R6	R7	R8	R9	R10
大学整備	基本設計	実施設計	建築工事	建物供用開始 ※実施時期は実施設計で検討	
手続き等	★整備場所決定	（事前評価） 公共事業評価 都市計画 決定 手続 建築確認・ 認定手続	新学部の認可手続き （大学→文科省） ★用地取得	学部開設	

■事業の目標

成果指標	基準年次	基準値	目標年次	目標値
新学部卒業生の市内就職率	R 5 年度	20.5% (大学全体)	R 12 年度	25% (新学部)

○令和4～6年度に市内に進出した企業は約140社あり、約1,800人の新規雇用を計画している。

○北九州市DX推進プラットフォーム等参加企業（108社）を対象に実施したアンケート調査の結果、7割を超える企業にデジタル人材の採用計画がある。

○こうしたデジタル人材の需要に対し、市内に進出したIT企業の約8割が集積する小倉周辺において、大学や専門学校が情報系人材を育てる新たな動きは、企業誘致や市の発展等に向け重要な取組となっている。

○北九州市立大学の新学部もこの一翼を担い、より多くの高度デジタル人材を市内へ輩出・供給し、市内企業を成長させ、地域に貢献することで、市の重点戦略である「稼げるまち」の実現を目指す。そのために、近年横ばいの状態が続いている北九大全体の市内就職率(20.5%)や北九州地域の大学等3月卒業生の市内就職率(22.2%)に対して、新学部卒業生はそれを上回る25%を目標値として設定している。

■事業の目標 【参考資料】

○北九大卒業生(全体)の市内就職率

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
19.7%	19.4%	21.4%	22.0%	19.5%	18.4%	20.1%	20.0%	20.5%

(出典：北九州市立大学)

○北九州地域の大学等3月卒業者の市内就職率



(出典：北九州市・新ビジョン (基本構想・基本計画))

■事業費

(百万円)

項目	合計	～R 6	R 7	R 8	R 9
施設整備費	3,313	—	—	1,325	1,988
用地費	240	—	—	240	—
委託費	320	47	118	22	133
合計	3,873	47	118	1,587	2,121

■財源内訳

(百万円)

	内訳			～R 6	R 7	R 8	R 9
北九州市立 大学	3, 649	市支出金	1, 572	—	—	628	944
		国庫支出金※	1, 327	35	83	484	725
		大学自主財源	750	12	28	374	336
旦過総合 管理運営(株)	224			—	7	101	116
合計	3, 873			47	118	1, 587	2, 121

※ 文部科学省「大学・高専機能強化支援事業」を活用

■管理・運営計画

管理運営方法	建物の所有 (区分所有)	・新学部部分 ⇒ (大) 北九州市立大学 ・店舗部分 ⇒ 旦過総合管理運営 (株)
	建物の管理	・専用部分は各々 例) 教室など ⇒ (大) 北九州市立大学 店舗 ⇒ 旦過総合管理運営 (株) ・共有部分は両者 (管理協定締結予定) 例) 管理室、ポンプ室